

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	被保険者管理事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	今野 忠光			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市国民健康保険被保険者資格者及びその世帯主	意図	制度運営上適正な事務執行ができる環境とし、分かりやすく迅速な対応に資する。
事業内容	被保険者管理は、国民健康保険の根幹をなす事業であり、適正な給付及び保険料の賦課を行うため、確実な被保険者の管理体制を構築する。			
事業開始から現在までの状況変化	制度の改正が繰り返されその管理内容も多岐に渡り、他の制度を遂行するために情報量が増え、その関連付けも複雑になってきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	被保険者数	39,583	37,250	35,744	人	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
被保険者が安心して医療を受けられることを目的として、被保険者証、限度額認定証等の郵送及び制度周知パンフレット、ポスター等を作成している。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	25,790,222	25,034,940	24,444,254
事業費(b)(円)	13,158,622	12,684,860	12,314,974
うち一般財源	13,158,622	12,684,860	12,314,974
職員給与費(c)(円)	12,631,600	12,350,080	12,129,280
人役・職員(人)	1.84	1.84	1.84
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	D 国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	被保険者への制度周知を行う。	③取組における課題(Check)	わかりやすく制度を周知する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	被保険者証の交付を行う際に、冊子や制度のチラシを同封して案内を行った。 また、各医療機関等に保険証更新のポスターを配布した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	引き続き、被保険者に対して制度をわかりやすく周知していく必要がある。